

都立東大和南公園の地域連携防災訓練

南街・桜が丘地域防災協議会本部

2024年03月10日

都立東大和南公園を管理している公益財団法人東京都公園協会の防災訓練が、3月10日以下の通り開催されました。東大和南公園は東京都で22カ所ある大規模救出救助活動拠点に指定されている重要な防災公園で、東大和市でも、3カ所ある広域避難場所の一つとなっています。合わせて東大和市消防団(7分団)の放水訓練も実施されました。

(日時)令和6年3月10日(日) 9:30~12:00

(場所)東大和南公園

(協力)自衛隊東京地方協力本部(国分寺募集案内所)

東大和市総務部防災安全課

東大和市消防団(放水訓練を南公園防災訓練と同時進行で実施。)

(参加者)南街・桜が丘地域住民を中心に、

公園協会職員(東大和南公園サービスセンター)を含め約40名。

★訓練内容

①集合・東大和南公園サービスセンター (防災公園説明)



受付

防災公園説明
東大和南公園サービスセンター
センター長様



(非常発電装置)



非常発電装置説明
東大和南公園サービスセンター
副センター長様



ディーゼルエンジンで。
主要電源が、1週間使用可能。

(デジタルサイネージ)



センター内にある
・デジタルサイネージ(電子掲示板)

他に

- ・防災無線3系統(東京都、東京都公園協会・災害時参集者30名ほど)
- ・AED 1台

(災害救援自動販売機)



災害時にセンター職員が
開錠し、飲料無料提供。
公園内に2カ所

②防災トイレ(3カ所)



車いすで入れる誰でもトイレに、
災害時使用のマンホール(便槽を使用)
があります(用具は女子トイレ倉庫内に)。

③防災あずまや(1カ所)



テントシートが4つの側面に収納されています。
柱には防災用具も収められています。

④ヘリポート照明 (ヘリコプター離発着広場)



ヘリポート照明2カ所。
ドクターヘリの第一の目的は、要救助者のもとに、
すばやくドクターを送り届けること。

(ヘリポート照明)



照明装置は公園内に2カ所



発電機で自家発電し、ヘリポート照明に電気の供給。
ポンベ2本使用し30分発電。

⑤自衛隊コーナー
(活動展示)



自衛隊東京地方協力本部
(国分寺募集案内所)
のご担当による解説。



(ロープワーク)



「本結び」(簡単)



4

主部を押さえながら、先端を引っ張って結びを固くしていき、形を整えて完成。

「もやい結び」
(結び目の王様)

⑥東大和市 防災備蓄倉庫(1カ所)の開錠・点検



防災備蓄倉庫説明
東大和市防災安全課 様
倉庫は22カ所にあります。

⑦消防団放水訓練



消防団放水訓練説明
東大和市防災安全課 様



9時から始まった消防団の放水訓練で、最後の第七分団の訓練を見学しました。



公園北口からホースを延長します。



⑧質疑応答



東大和南公園サービスセンターセンター長様による「今ドキ！防災ブック(防災公園版)」の地震や富士山噴火などについて解説。質疑応答



東大和南公園 地域連携防災訓練

～もっと知ろう！地域の防災～

3/10(日) 9時30分～11時30分

※小雨決行・荒天中止

繰り返される
震災の記憶を風化
させないよう、
身の回りの防災
をもう一度
学ぼう

今
一
度

- ①地元の防災公園の機能・役割を知ろう。
- ②関係機関による防災の取り組みを知ろう。
- ③防災公園スタッフと顔の見える関係を築こう。

9時30分サービスセンター前集合
どなたでもご参加いただけます

防災公園の機能・役割解説

公園の防災施設紹介

市の防災倉庫点検

自衛隊の活動紹介
ロープワーク体験

消防団操法訓練

歩きやすい靴や
屋外活動ができ
る服装でお出か
けください。



「防災公園」は「広域避難場所」であると同時に、災害時に自衛隊や警察・消防などの部隊が活動するベースキャンプとなる「大規模救出・救助活動拠点」の候補地です。使用するヘリポートには、運動広場が指定されています。サービスセンターは約1週間使用できる電力の自家発電設備を備えています。



【お問合せ】東大和南公園サービスセンター TEL:042-562-1498



- | | | | |
|---|--------------------------------------|--|-----------|
|  | ヘリコプター離発着の可能性のある広場
(大規模救出・救助活動拠点) |  | 緊急車両出入口 |
|  | 防災トイレ (常設) |  | AED |
|  | 防災あずまや |  | 公衆電話 |
|  | 災害救援自動販売機 |  | 避難誘導灯 |
|  | 広域避難場所表示灯 |  | サービスセンター |
|  | 防災用照明灯 |  | デジタルサイネージ |
|  | 非常用発電機 | | |



**ヘリコプター離発着の可能性のある広場
(大規模救出・救助活動拠点)**
災害時には、ヘリコプターの離発着場所として使用される可能性のある広場です。



防災トイレ (常設)
地下に便槽を持ち、災害時に給水や排水などのインフラが寸断された場合でも利用できるトイレです。災害時には、蓋を開けて使用します。



防災あずまや
災害時には、側面の幕を下ろし、避難スペース等として使用します。



災害救援自動販売機
災害時、一定の条件が満たされた時に飲料を無償提供する機能が備わった自動販売機です。



広域避難場所表示灯



防災用照明灯 (ソーラー照明灯)



緊急車両出入口



AED
サービスセンター内に保管しています。



公衆電話



避難誘導灯



サービスセンター



非常用発電機
サービスセンターが震災対応をするために必要な電源を確保する設備です。



東京都公園協会ホームページ「防災公園を知ろう」
URL: <https://www.tokyo-park.or.jp/special/bousai/>

防災トイレ(常設)		防災あずまや	災害救援自動販売機	AED
箇所数	穴数	基	箇所数	台数
3	3	1	2	1

あしたたちの防災力

東大和南公園



都立公園の多くは、発災時には避難場所や、救出・救助部隊のヘリコプターが離発着する広域防災拠点としての役割を果たします。

その中でも、区部・多摩地域において大きな被害が想定される地域に近接し、自衛隊をはじめとする救出・救助部隊のヘリポートやベースキャンプなどの活動スペースの確保が可能な都立公園が「大規模救出・救助活動拠点候補地」に指定されています。

これらの公園は、発災時に自衛隊、消防、警察等の広域支援・救助部隊が、被災者の救出及び救助活動を行う拠点として活用できるよう整備されています。

(公財)東京都公園協会は、東京都や地元区市等と連携し、これら防災上重要な役割をもつ公園の機能を十分発揮できるよう日頃から防災対応力の向上に取り組んでいます。



公益財団法人東京都公園協会

以上